

北秋田市 第1回総合計画策定審議会議事録

日時：平成27年6月10日 15時30分～16時30分

場所：北秋田市中央公民館 大教室（3F）

【決定事項】

○次回の日程は7月15日

○次回の資料については、出来るだけ早く委員へ送付すること。

【主な意見】

- ・案で出された基本構想、基本計画は良い話であると思いますが、これから5年・10年と
 税収が減る、人口が減る等の厳しいこともあると思います。そのような厳しいことがあ
 るとすれば、現在の記載ではその辺が感じられないので、記載を検討頂きたいと思いま
 す。もっと厳しい文言を記載しても良いのではないのでしょうか。
- ・一方で現状は肯定しなければいけないとも思います。批判などやりすぎると元気もなくな
 ってしまうのではないのでしょうか。皆さん現実は何となく厳しいという危機意識は
 感じていると思います。しかし、これをどんどん表現していくと計画も暗いものになる
 ので、その辺は注意が必要ではないのでしょうか。現状を否定してしまうと今後のスター
 トにはならないので、是非計画においては未来に向かって前向きな、それであって具体
 性・現実性のあるものを打ち出してほしいと思います。
- ・2次計画なので、今年度までの1次計画の中で予定通り来ていたのか、それとも予定外に
 進んでいたものが何なのかを検証し、これをどう踏まえていくかが現実的であると思
 います。例えば医療については、1次計画で掲げた医療構想はできていないし、市民病
 院へのアクセスの問題もここまでできていないと感じます。一方で、専門的な高度な医
 療については、各医療機関からの応援を頂きながら出来るようになってきたと思いま
 す。また、地域医療再生基金を25億全て使い、ドクターヘリ等を整備してきたことが
 あります。このように当初の予定に入っていないもので進んだものもありますし、計画
 に記載はしたものの予定通りに進んでいないものがあるかと思っています。
- ・また、内陸線についても北海道等で線路を使ったバスの話がありましたが、新しい車両に
 変えるのであれば線路から外れて病院にも行って、また線路に戻ってこられる等の取
 組が可能であれば第1次計画で掲げている北秋田市市民病院へのアクセス改善につな
 げられるのではないのでしょうか。アクセスの改善がスムーズにいかないと車両をいく
 ら増やしても乗降者数が増えず、このままでは鉄道がなくなっても仕方がないのでは
 ないのでしょうか。

- ・計画についてそれほど卑屈になる必要はないのではないのでしょうか。もっと誇りをもって良いと思います。1次と2次の計画についての関連性の中で原則論さえ守って頂ければ良いのではないのでしょうか。その原則論として我々では数値のない目標は作るなどと言われておりますので、今回の計画で目標値を盛り込むことは非常に素晴らしいと思います。また、今後の考え方として、1次計画の中の長所を更に進展させることが一番良いと思います。悪いものを治すことは現実的に難しいものです。このようなことで2次の計画においては、より長所を出して伸ばしてほしいと思います。そしてこれを数値として示せると良いと思います。このようなことについては他市には例はないと思いますので、是非皆さんで考えてほしいと思います。
- ・計画には安心して子育てということがありますが、まわりを見ているとその前に未婚者が多いと感じます。男の人でも高齢化した時に茶飲み友達のような奥さんがいて、地域とも交流できる温かい市・まちを作れたらと思います。その中で、お嫁さんをどうするかだと思います。私は神奈川から農業に憧れて嫁いできて、3人の子供を育てましたが、良い環境で子どもを育てられたと感じています。このような北秋田市の良さをもっと東京等都市部に広めて市に人を呼び込むことが出来ればと思います。

【詳細議事録】

1. 委嘱状公布

ー市長より各委員に委嘱状公布ー

2. 市長挨拶

市長：本日は大変ご多用に関わらずご出席頂き誠に有難うございました。只今皆様方に第2次北秋田市総合計画の審議会委員の委嘱をさせて頂いたところでございます。皆様にはご多忙に関わらず当委員の任務を引き受けて頂いたことをまずもって感謝を申し上げます。ご案内の通り、昨年北秋田市は誕生して10周年を迎えました。そして次の10年に向けて新たな10年の第一歩を踏み出したところでございます。これまでの10年間は北秋田市総合計画のもとに各種施策や事業を推進してきたところでありますが、この総合計画の計画期間が今年度で終了することから、これまでの取組を総括しながら新たな総合計画の策定に向けて昨年度から取り組んでいるところです。総合計画は北秋田市の最上位の計画として、今後10年間の基本構想と5年間の前期計画を定めるもので市の総合的な発展と振興を目的とした施策が盛り込まれるほか、今回は目標値を定め、施策の効果の検証と評価を行うことでより実践的な総合計画としたいと考えております。そのような観点からも今日ここにおいでの方々の委員の方々は各分野を代表する広い見識をお持ちの方ですので、心強く感じているところであります。結びになりますが、今年10月末までの計画策定として大変時間としてもタイトであ

り短い時間ではありますが、この中でご審議を頂くということで委員の皆様にはご難儀をかけることになるかと思いますが、是非とも沢山のご意見・ご提言を頂きながら北秋田市が目指すべき将来像を達成するための第 2 次総合計画を作りあげていきたいと考えておりますので、ご理解とご協力をよろしくお願い致します。

3. 自己紹介

—各委員より名前、所属等の挨拶—

—事務局より事務局の紹介—

4. 委員長・副委員長の選出

事務局：それでは、委員長及び副委員長の選出を行う前に、第 2 次北秋田市総合計画策定審議会設置要綱のご説明を行いたいと思います。

—設置要綱の説明—

それでは、委員長及び副委員長の選出を行います。

先ほど、ご説明いたしました設置要綱第 6 条の規定により、委員長は委員の互選によりこれを定め、副委員長は委員長が指名することとなっております。委員の皆様から発言をお願い致します。

奈良委員：第 1 次計画の策定から入られている方に入って頂ければと思います。

事務局：10 年前の計画となることから、関わっていた委員はございません。

畠山委員：事務局より腹案があればお願い致します。

事務局：事務局に腹案は？との声がありましたので、事務局から提案させていただきたいと思いますが、ご異議ございませんか。

—異議なし の声—

それでは、本策定審議会では、様々な分野の委員の皆様からのご意見やご提言を反映させる必要があることから、幅広い分野に精通をしていらっしゃる秋田大学北秋田分校長の濱田純委員に委員長をお願いいたしたいと存じますが如何でしょうか。

— 異議なし の声 —

それでは、濱田様よりようお願いいたします。また、濱田委員長には副委員長を指名していただきたいと思いますので、よろしくお願い致します。

委員長：それでは、唯一の公募委員であります福原勝紀さんを副委員長に指名したいと思いますのでよろしくお願いいたします。

事務局：それでは委員長の指名のとおり、福原さんを副委員長として選任いたしますので、福原さんどうぞよろしくお願いいたします。

5. 事務局説明

委員長：まず、(1)「第2次北秋田市総合計画策定に向けたこれまでの状況について」を事務局より説明をお願いします。

—事務局より資料1～資料3説明—

委員長：それでは、これまでのところで委員からの質疑・意見を伺えればと思います。

現時点ではあまり無いようですので、続いて(2)「第2次北秋田市総合計画骨子(案)について」を事務局より説明をお願いします。

—事務局より資料4説明—

委員長：それでは、資料4、及び資料1～3でも構いませんので、委員からの質疑・意見を伺えればと思います。

福原委員：案で出された基本構想、基本計画は良い話であると思いますが、これから5年・10年と税収が減る、人口が減る等の厳しいこともあると思います。そのような厳しいことがあるとすれば、現在の記載ではその辺が感じられないので、記載を検討頂きたいと思います。もっと厳しい文言を記載しても良いのでないでしょうか。

高坂委員：福原委員のおっしゃる通りだと思いますが、一方で現状は肯定しなければいけないとも思います。批判などやりすぎると元気もなくなってしまうのではないのでしょうか。皆さん現実はあるものすごく厳しいという危機意識は感じていると思います。しかし、これをどんどん表現していくと計画も暗いものになるので、その辺は注意が必要ではないのでしょうか。現状を否定してしまうと今後のスタートにはならないので、是非計画においては未来に向かって前向きな、それであって具体性・現実性のあるものを打ち出してほしいと思います。

委員長：大事な二つの意見を伺ったと思います。厳しく見るべきであると同時に、否定しすぎると計画に夢が無いので注意すべきということ。これについて事務局から補足があればお願いします。

事務局：その通りだと思っています。既にわが市においては人口減の中で賑わいがなくなっているところがあります。現在、将来の人口推計を行い、人口ビジョンを検討しておりますが、高齢化率が今後50%になるという推計をしています。今回の計画においては、そういう中ではありますが、少しでも架空の話ではなく現実的なものとして、希望を持てる計画を立てたいと思っております。このようなことを踏まえ、基本理念及び将来都市像については、市民意識調査でも自然が多くて住みやすいという声を頂いていることも踏まえまして、そのような良い面を捉えて文言を考えているところです。

委員長：有難うございました。他にご意見がある方はお願いします。

奈良委員：2次計画なので、今年度までの1次計画の中で予定通り来ていたのか、それとも予定外に進んでいたものが何なのかを検証し、これをどう踏まえていくかが現実的であると思います。例えば医療については、1次計画で掲げた医療構想はできていないし、市民病院へのアクセスの問題もここまでできていないと感じます。一方で、専門的な高

度な医療については、各医療機関からの応援を頂きながら出来るようになってきたと思います。また、地域医療再生基金を25億全て使い、ドクターヘリ等を整備してきたことがあります。このように当初の予定に入っていないもので進んだものもありますし、計画に記載はしたものの予定通りに進んでいないものがあるかと思います。

また、内陸線についても北海道等で線路を使ったバスの話がありましたが、新しい車両に変えるのであれば線路から外れて病院にも行って、また線路に戻ってこられる等の取組が可能であれば第1次計画で掲げている北秋田市市民病院へのアクセス改善につながられるのではないのでしょうか。アクセスの改善がスムーズにいかないと車両をいくら増やしても乗降者数が増えず、このままでは鉄道がなくなっても仕方がないのではないのでしょうか。

委員長：委員のおっしゃる通り北海道の取組は素晴らしいと思います。また、第1次計画から引き継いでいくものもあれば、課題として残っているものを次につなげるということもあると思います。内部ではこれまでの計画の検証として行政評価委員会等での取組もあったと思いますが、事務局どうでしょうか。

事務局：まず第1次の現行計画の評価についてですが、お手元にある現在の計画は目標値が存在していないことがあります。従って新しい計画を作るにあたって前回計画の進捗を評価しようとしたのですが、具体的に明記されている取組以外は抽象的な表現の取組となっており、抽象的であるがゆえに予定通りできたのかどうか判断つかないものがありました。このようなことから、今後は客観的に判断ができるよう、どの統計指標を活用するか、住民意識調査としてどのような項目を設けるべきなのか等について、計画を策定する始めの段階からこれまで積み上げて検討してきました。これについては次回以降の会議で、各施策の数値目標を記載した諮問案を提示させていただきますので、次回以降において指標にしても別の指標がよい、目標値が低い等の議論を深めて頂きたいと考えております。

そして行政評価委員会については、これまでの主な取組として、例えばバス路線運航費補助事業などの具体的な事業について、市として現状・課題を提示して今後どうあるべきかを議論する場として設けているものです。ただ、市の全ての事務・事業となると500を超えてしまうことから、どうしても抽出して実施せざるを得ない状況となっており、総合計画で掲げる全ての取組を評価できている訳ではありません。今後、総合計画を策定して後に、定められた目標値の進捗状況の確認を行政評価委員会の場でも考えていければと思っておりますが、現状では計画に目標値もないことからそこまで至っていないものとしてご理解頂ければと思います。

委員長：説明有難うございました。では他の委員の方はいかがでしょうか。

高坂委員：計画についてそれほど卑屈になる必要はないのではないのでしょうか。もっと誇りをもって良いと思います。1次と2次の計画についての関連性の中で原則論さえ守って頂ければ良いのではないのでしょうか。その原則論として我々では数値のない目標は

作るなどと言われておりますので、今回の計画で目標値を盛り込むことは非常に素晴らしいと思います。また、今後の考え方として、1次計画の中の長所を更に進展させることが一番良いと思います。悪いものを治すことは現実的に難しいものです。このようなことで2次の計画においては、より長所を出して伸ばしてほしいと思います。そしてこれを数値として示せると良いと思います。このようなことについては他市には例はないと思いますので、是非皆さんで考えてほしいと思います。

委員長：有難うございました。女性の観点から簾内委員はいかがでしょう。

簾内委員：計画には安心して子育てということがありますが、まわりを見ているとその前に未婚者が多いなと感じます。男の人でも高齢化した時に茶飲み友達のような奥さんがいて、地域とも交流できる温かい市・まちを作れたらと思います。その中で、お嫁さんをどうするかだと思います。私は神奈川から農業に憧れて嫁いできて、3人の子供を育てましたが、良い環境で子どもを育てられたと感じています。このような北秋田市の良さをもっと東京等都市部に広めて市に人を呼び込むことが出来ればと思います。

委員長：実例のお話を含めて頂き有難うございました。

その他特になければ今後のスケジュールについて事務局より説明をお願いします。

―事務局より次回スケジュールの説明―

委員長：何かご質問はありますでしょうか。

奈良委員：次回より資料を事前に送付して頂きたいと思います。当日渡された資料で読みながら発言するのも難しいので、早めに確認して会議に臨めればと思います。

事務局：承知致しました。次回の資料については事前に送付するように致します。

委員長：よろしくお願い致します。その他特になければ、その他のご案内も含めて事務局よりお願いします。

事務局：本日はご意見頂き、有難うございました。本市においてはこれまで、総合計画は市の最上位計画でありながら、市の中でそれほど重要視されていないものとして認識されているのが実態です。施策を立案するにあたって、必ずしも総合計画に記載されていることから始まっていないものが多々見受けられます。今後は必ず総合計画に基づいて施策を展開しなければならない、そういう認識で計画を作してほしいと現在事務作業を進めています。なかなか今までの役所の段取りを変えるのは難しいところではありますが、皆様に審議頂くとともに、今後一般市民の方々の声も伺って定めていきたいと考えております。次回以降からは各論の中身を提示させて頂きますが、かなりの分量になることから、出来るだけ早く資料は送付したいと考えておりますので、どうぞよろしくお願い致します。

以上